**中央社保協２２年度第３回国保部会**

□と　き　２０２２年１０月１７日（月）１０時半～

□ところ オンライン（Zoom）会議

□参　加　民医連（山本）、全商連（宇野）、全生連（西野）、保団連（上所）

北海道（沢野）、宮城（高橋）、埼玉（川島）、千葉（藤田）、

愛知（澤田）、大阪（寺内）、事務局（林、大嶋）

（１）情勢・報告

１.国保新聞より

・医療費4.6％増、44.2兆円に　コロナ受診控えの反動で過去最高（10/1）

・「入院助成」高校生までが半数超　自治体の子ども医療費助成（10/1）

・基金5720億円、227億円増　市町村の91％が保有　2年度国保（10/1）

・医療・福祉人材96万人不足、厚労白書（10/1）

・支援金のあり方検討へ　後期高齢者医療制度　現役世代の負担軽減図る

産前産後の保険料免除、国保での導入課題に（10/10）

ほか

・子ども未来ネット　新署名スタート（以下、請願項目）

１．18歳年度末までを対象とする国の医療費窓口負担無料制度（入院時の食事負担を含む）を早期に創設すること

２．子ども医療費助成を現物給付した自治体への国保国庫負担の減額（ペナルティー）を完全に廃止すること。

２．これまでの経過（9/22以降）

09月22日（木）第2回国保部会
10月15日（土）長野県社保協・国保改善運動交流集会

予定

11月19日（土）神奈川社保協・国保改善交流集会

12月11日（日）中央社保協・国保交流集会

（２）２０２２年度国保学習運動交流集会について

・日程　１２月１１日（日）13時30分～16時30分（受付13時～）3時間

・場所　オンライン開催（会場は医療労働会館を予定）

・内容　こうやればできる　この春「国保改善をめざす」実践基礎講座

来年は統一地方選挙であり、国保問題を争点化する大きなチャンス

国保の基礎を改めて学び、払える国保料の実現へ、実践的な集会としたい

参加しやすい形の追求と、全県参加をめざし、全県で春の闘いを意思統一する

開催スケジュール（案）

1. 基礎講座（50分　10分間休憩）

国保の歴史と基礎をあらためて学ぼう（大阪社保協　寺内事務局長）

1. 実践講座（50分　10分間休憩）

この春、国保改善へ具体的な闘い（愛知社保協　澤田

1. 質疑・相互交流（指定報告2本程度　45分）

2つの講座への質疑、地域の実践報告

1. 行動提起（15分）

国保改善、春の闘いについて

チラシ　早急に

指定報告2本の検討

（３）国保料（税）、資格書等調査について　※調査一覧表参照

1. 集約状況（9月21日現在）12県26市（全86市の30％）

青森2、山形1、宮城1、茨城1、東京2、千葉3、神奈川4、愛知5、和歌山1、島根1、岡山2、大分1、鹿児島1、沖縄1

（４）国保部会の運営強化について

中央社保協事務局体制の交代に伴い、国保部会の運動、体制強化へ、部会の事務局について検討する。

　（案）中央社保協事務局、部会中央団体、部会県社保協から若干名

（５）その他

千葉（藤田）中核市の調査、資格書の調査のほか、子どもの均等割の独自減免の実態調査の要望、全商連に「国保の傷病手当の実態」を聞きたい。

①次回日程　　月　　　日（　　　）　オンライン会議